

ねんど れいわ ねんど
2025年度（令和7年度）

じゅぎょうけいかく
授業計画（シラバス）

ふくおか かいご ふくし せんもんがっこう
福岡介護福祉専門学校

ねんど れいわ ねんど
2025年度（令和7年度）

じゅぎょうけいかく
授業計画（シラバス）

ねんせい
1年生

2025年度
授 業 計 画

科目名 にんげん そんげん じりつ 人間の尊厳と自立	履修方法 講義 演習・実習	授業担当者 小笠原 靖治
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 1 年 (前期)・後期)	実務経験 かいごろうじんほけんしせつ かいご 介護老人保健施設で介護 ふくししとして勤務
[教育目標] にんげん そんげん なに りかい ふかめ そんげん じりつ かんけいせい まなぶ 人間の尊厳とは何かについて理解を深め、尊厳と自立についての関係性について学ぶ。		
授業内容		
1 にんげん りかい 人間を理解すること		
2 にんげん そんげん い ぎ 人間の尊厳の意義		
3 よくせいはいしふくおかせんげん 抑制廃止福岡宣言		
4 かいごげんば そんげん 介護現場の尊厳		
5 にんげん そんげん じりつ しょきてい 人間の尊厳と自立の諸規定		
6 アドボカシー・ストレングス・エンパワメント		
7 じぶん いま かんが えんしゅう 自分の今を考える (演習)		
8 せいねんこうけんせいど 成年後見制度		
9 にちじょうせいかつじりつしえんじぎょう 日常生活自立支援事業		
10 こうれいしゃぎやくたいぼうしほう 高齢者虐待防止法		
11 うんどう かんが じりつ IL運動から考える自立		
12 かいごげんば そんげん じりつ 介護現場での尊厳と自立		
13 せいかつほごほう げんり げんそく 生活保護法 原理・原則		
14 せいかつほご せいど 生活保護 制度のしくみ		
15 まとめ しけん まとめ 試験		
[使用テキスト・参考文献] 介護福祉士養成講座 1 人間の理解 中央法規出版		[単位認定の方法及び基準] ひっき 筆記・レポート

令和 7 年度

授業計画

科目名 人間関係とコミュニケーション	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 河邊 隆二
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 1 年 (前期) ・ 後期)	実務経験：介護老人保健施設、 グループホームで介護福祉士として勤務
[教育目標] 対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を学び、介護実践に必要なコミュニケーション能力を養う。		
授業内容		
1 人間と人間関係		
2 人間らしさのはじまり		
3 自分と他者の理解		
4 発達心理学からみた人間関係		
5 社会心理学からみた人間関係		
6 人間関係とストレス		
7 自分と他者の認識のずれについて考える		
8 少数派が集団を変えるために必要なことを考える		
9 対人関係におけるコミュニケーション		
10 コミュニケーションの概念		
11 コミュニケーションの基本構造		
12 コミュニケーションの手段		
13 関係性によるあいさつの違いと含まれるメッセージについて考える		
14 非言語の種類とメッセージについて考える		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 1 人間の理解		[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・出席状況

令和7年度

授業計画

科目名 人間関係とコミュニケーション	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 河邊 隆二
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 1年 (前期・後期)	実務経験：介護老人保健施設、 グループホームで介護福祉士として勤務
[教育目標] 対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を学び、介護実践に必要なコミュニケーション能力を養う。		
授業内容		
1 対人援助関係とコミュニケーション		
2 対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション		
3 対人援助における基本的態度		
4 援助的人間関係の形成とバイステックの7つの原則		
5 傾聴について考える ①		
6 傾聴について考える ②		
7 バイステックの7つの原則について考える		
8 組織におけるコミュニケーション		
9 組織の条件とコミュニケーションの特徴		
10 組織における情報の流れ ①		
11 組織において求められるコミュニケーション ①		
12 組織において求められるコミュニケーション ②		
13 組織のコミュニケーションについて考える		
14 プレーンストーミングをやる		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 1 人間の理解	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・出席状況	

2025年度
授業計画

科目名 こうれいしゃふくしろん 高齢者福祉論	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 小笠原 靖治
授業の時間・回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 1年（前期・後期）	実務経験 かいごろうじんほけんしせつ 介護老人保健施設で介護 福祉士として勤務
[教育目標] こうれいしゃふくしぜんぽん ほうせいど がいよう りかい 高齢者福祉全般の法制度の概要を理解する。 かいごほけんせいど りかい ふかめる 介護保険制度についての理解を深める。		
授業内容		
1 ふくし なに 福祉とは何か		
2 こうれいしゃふくし げんじょう かだい 高齢者福祉の現状と課題		
3 ろうろうかいご しかく なごや じれい 老々介護の資格 名古屋の事例から		
4 えんきよりかいご 遠距離介護		
5 かいごほけんせいど もくてき 介護保険制度の目的		
6 かいごほけんせいど ざいげん 介護保険制度の財源		
7 ほけんしゃ ひほけんしゃ 保険者と被保険者		
8 ようかいごにんてい りよう ながれ 要介護認定からサービス利用までの流れ		
9 きょたく 居宅サービス①		
10 きょたく 居宅サービス②		
11 しせつ 施設サービス		
12 ちいきしえんじぎょう ちいきほうかつ 地域支援事業と地域包括ケア		
13 きょたくかいごしえんじぎょうしょ かいごしえんせんもんいん 居宅介護支援事業所と介護支援専門員		
14 ケアマネジメント じつれい 事例		
15 まとめ 試験		
[使用テキスト・参考文献] 介護福祉士養成講座 2 社会の理解 中央法規出版	[単位認定の方法及び基準] ひっき 筆記・レポート	

2025年度
授 業 計 画

科目名 おんがくりょうほう 音楽療法	履修方法 こうぎ せんしゅつ じっしゅつ 講義 演習・実習	授業担当者 おかもと みねよ 岡本 峰世
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 1 年 (前期) ・ 後期)	実務経験： しせつ がっこうとう ひじょうきんこう 施設や学校等で非常勤講師として勤務。
[教育目標]		
にほん うた つ 日本で歌い継がれてきた曲を、季節や行事と共に学ぶ。		
授業内容		
1	どうよう しょうか うた 童謡や唱歌を歌いながら季節や行事・草花を学ぶ	
2	どうよう しょうか うた 童謡や唱歌を歌いながら季節や行事・草花を学ぶ	
3	ことば もち 言葉を用いなくてコミュニケーションをとる方法	
4	うた あ からだ うご 歌に合わせて体を動かす。(指遊び・体操)	
5	うた あ からだ うご 歌に合わせて体を動かす。(曲調に合った動き)	
6	うた あ からだ うご 歌に合わせて体を動かす。(手遊び)	
7	うた あ からだ うご 歌に合わせて体を動かす。	
8	おんがくりょうほう かくりょういき おんがく つか かた 音楽療法について。各領域での音楽の使われ方	
9	おんがく 音楽にできること。	
10	き おんがくりょうほう 聴く音楽療法。	
11	かくりょういき ひつよう おんがく 各領域で必要な音楽。	
12	じぶん おんがくりょうほう 自分への音楽療法。	
13	この もの この おんがく 「あなた」が好む物・「誰が」好む音楽	
14	おんがくかんしょう 音楽鑑賞	
15	しけん まとめと試験	
[使用テキスト・参考文献]		[単位認定の方法及び基準]
なつ うた おも で うた 懐かしい歌・思い出の歌		ひっ き ぎじゅつ 筆記・レポート・技術

2025^{ねんど}年度
授^{じゅ}業^{ぎょう}計^{けい}画^が

科目名 おんがくりょうほう 音楽療法	履修方法 こうぎ 講義 <u>えんしゅ</u> 演習・実習	授業担当者 おかもとみね よ 岡本峰世
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 1 年 (前期 ・ <u>後期</u>)	実務経験： しせつ がっこうとう ひ じょうきんこう 施設や学校等で非常勤講 し 師として勤務。
[教育目標] おんがく も ちから し おんがく つかひと ひとひと 音楽の持つ力を知り、音楽を使い人々とかかわっていく方法を考え活動する。		
授業内容		
1 おんがく きおく むす かんが 音楽と記憶の結びつきを考える。		
2 かしょうかつどう みちび だ きおく ひろ ほうほう 歌唱活動で導き出された記憶を広げる方法。		
3 どんな きょく つか どんな曲を使ったらよいのか。(記憶をひきだす)		
4 //		
5 //		
6 //		
7 たいしょうしゃ おんがく 対象者を設定し、音楽レクリエーションのプログラムをたてる。		
8 ① セッションの目標		
9 ② 目標を達成するための選曲、プログラム		
10 ③ コミュニケーションの手段としての音楽		
11 ④ からだ うご おんがく 身体を動かすための音楽。		
12 プログラムをたてえんしゅ く かえ ひょうか プログラムをたて演習を繰り返し、評価しあう。		
13 //		
14 //		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] なつ うた おも で うた 懐かしい歌・思い出の歌		[単位認定の方法及び基準] ひっ き ぎじゅつ 筆記・レポート・技術

令和7年度
授業計画

科目名 介護の基本B	授業の種類 講義・演習・実習	授業担当者 河邊 隆二
授業の回数 60 時間 30 回	配当学年・時期 1年（前期・後期）	実務経験：介護老人保健施設、 グループホームで介護福祉士として勤務
[教育目標] 「尊厳の保持」「自立支援」という介護の考え方を理解するとともに、「介護を必要とする人」を、生活の観点から捉えることができる。		
授業内容		
1 私たちの生活の理解	16 介護の成り立ち ①	
2 生活とは何か	17 介護の成り立ち ②	
3 生活にとって大切な要素	18 介護福祉を取り巻く状況 ①	
4 生活の特性	19 介護福祉を取り巻く状況 ②	
5 「生活のしづらさ」に対する支援	20 介護福祉の歴史 ①	
6 介護福祉を必要とする人の「暮らし」を理解するということ	21 介護福祉の歴史 ②	
7 介護福祉を必要とする高齢者の暮らし ①	22 介護福祉の歴史 ③	
8 介護福祉を必要とする高齢者の暮らし ②	23 介護福祉の基本理念 ①	
9 介護福祉を必要とする障害者の暮らし ①	24 介護福祉の基本理念 ②	
10 介護福祉を必要とする障害者の暮らし ②	25 尊厳を支える介護 ①	
11 個人の暮らしや歴史を聴く場合の注意点	26 尊厳を支える介護 ②	
12 「その人らしさ」の理解	27 自立を支える介護 ①	
13 「生活ニーズ」の理解	28 自立を支える介護 ②	
14 生活のしづらさについて考える	29 利用者主体の自立を支えるために必要な自己決定権	
15 家族介護者への支援	30 まとめと試験	
[使用テキスト・参考文献] 最新・介護福祉士養成講座 第4巻「介護の基本Ⅱ」第2版 最新・介護福祉士養成講座 第3巻「介護の基本Ⅰ」第2版		[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・出席状況

2025年度

授 業 計 画

科目名 コミュニケーション技術(B)点字	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 竹之内 康
授業の回数 18 時間 9 回	配当学年・時期 1 年 (前期・後期)	実務経験:国立視力セン ターに32年間勤務
[教育目標] 視覚障害に関する基礎知識と介護歩行技術を理解するとともに、視覚障害者の コミュニケーション手段として用いられている点字の技法を身につける。		
授 業 内 容		
1	講義「視覚障害の理解」。視覚障害者の介護(ガイド)歩行の基礎技術習得。	
2	視覚障害者の介護(ガイド)歩行の実技実習	
3	点字への導入(歴史・概要・用具の理解)、基礎練習。	
4	点字の表記法 1 {語の表記法(かなづかい。書きと読み)}	
5	点字の表記法 2 {語の表記法(かなづかい。書きと読み)}	
6	文の表記法 1 {分かち書き。(文節分かち書き。書きと読み)}	
7	文の表記法 2 {分かち書き。(文節分かち書き。書きと読み)}	
8	文の表記法 3 {分かち書き。(複合語、固有名詞。書きと読み)}	
9	記号類の表記。点字のまとめ試験	
[使用テキスト 参考文献] 「初めての点訳」(第3版) (NPO全国視覚障害者情報提供施設協会編)		[単位認定の方法および 基準] 筆記・レポート・技術

福岡介護福祉専門学校

2025年度
授業計画

科目名 コミュニケーション技術B(手話)	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 古賀 由利子
授業の回数 12時間 6回	配当学年・時期 1年 (前期・後期)	実務経験: 介護老人保健施設に おいて介護福祉士として勤務
[教育目標] 聴覚障害者について正しく理解し、言語である手話で簡単な会話ができる。		
授業内容		
1 介護を必要とする人と家族とのコミュニケーション 障害の特性に応じたコミュニケーション 聴覚障害者の生活、心構え・手話の基礎知識 挨拶と挨拶で使う言葉・名前《指文字・手話・空書・手話ネーム》		
2 数字、時、自然を使って話しましょう・家族を紹介しましょう		
3 趣味、色について・仕事について 心理、感情・場所、住所について話しましょう		
4 演習 手話ソング		
5 演習 手話ソング		
6 まとめ 定期試験		
[使用テキスト・参考文献] 冊子 資料 手話奉仕員養成テキスト	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術 出席・授業態度等	

2025年度
授業計画

科目名 生活支援技術 A	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 古賀 由利子
授業の回数 120 時間 60 回	配当学年・時期 1年 (前期) ・ 後期)	実務経験：介護老人保健施設 において介護福祉士として勤務
【教育目標】 介護の基本的な知識・技術・態度を演習しながら習得し、それらを統合して適切に生活支援技術が実践できるよう指導する。		
授業内容		
1 自立に向けた生活支援の介護	16 演習 車椅子移乗 (一部介助)	
2 生活支援の介護の意義と目的	17 演習 車椅子移乗 (一部介助)	
3 生活支援の理解	18 演習 車椅子移乗 (全介助)	
4 生活の多様な側面・生活の場の特徴	19 演習 車椅子移乗 (全介助)	
5 自立に向けた移動・移乗の介護	20 現場見学・現場演習	
6 移動・移乗の介護の意義と目的 移動・移乗の介護のアセスメント	21 現場見学・現場演習	
7 道具・用具の種類 事故の予防・異常時の対応	22 現場演習	
8 他職種の役割と協働 移動・移乗介助の実際 方法・手順	23 車椅子移乗 (一部介助) 振り返り 車椅子移乗 (全介助) 振り返り	
9 演習 安楽な体位、演習 体位変換	24 自立に向けた身じたくの介護	
10 演習 移動 (歩行・杖・歩行器)	25 身じたくの介護の意義と目的 身じたくの介護のアセスメント	
11 演習 移動 (歩行・杖・歩行器)	26 道具・用具の種類 事故の予防・異常時の対応	
12 演習 移動 (車椅子)	27 他職種の役割と協働 身じたく介助の実際 方法・手順	
13 演習 移動 (車椅子) 移動 (車椅子) 振り返り	28 演習 爪切り	
14 演習 リフト	29 演習 爪切り	
15 演習 スライディングシート・ボード	30 まとめ 定期試験	
【使用テキスト・参考文献】 最新・介護福祉士養成講座 6・7・8 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 中央法規	【単位認定の方法及び基準】 筆記・レポート・技術 出席・授業態度等	

2025年度
授業計画

科目名 生活支援技術 A	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 古賀 由利子
授業の回数 120 時間 60 回	配当学年・時期 1年 (前期・後期)	実務経験：介護老人保健施設に おいて介護福祉士として勤務
[教育目標] 介護の基本的な知識・技術・態度を演習しながら習得し、それらを統合して適切に生活支援 技術が実践できるよう指導する。		
授業内容		
1 演習 口腔ケア	16 演習 トイレ (一部介助) (全介助)	
2 演習 口腔ケア	17 演習 Pトイレ (一部介助)	
3 衣服の着脱の介護の意義と目的、アセスメント	18 演習 Pトイレ (一部介助)	
4 衣服の着脱介助の実際 方法・手順	19 演習 Pトイレ (一部介助)	
5 演習 前開きの着脱 (一部介助)	20 演習 Pトイレ (全介助)	
6 演習 かぶりの着脱 (一部介助)	21 演習 Pトイレ (全介助)	
7 演習 前開きの着脱 (全介助)	22 演習 尿器・便器 (一部介助)	
8 演習 かぶりの着脱 (全介助)	23 演習 尿器・便器 (全介助)	
9 現場見学・現場演習	24 演習 紙オムツ (一部介助)	
10 現場演習	25 演習 紙オムツ (一部介助)	
11 自立に向けた排泄の介護	26 演習 紙オムツ (全介助)	
12 排泄の介護の意義と目的 メカニズム 排泄の介護のアセスメント	27 演習 紙オムツ (全介助)	
13 排泄の障害 頻尿・尿失禁・下痢・便秘	28 現場見学、現場演習	
14 道具・用具の種類 事故の予防・異常時の対応	29 現場演習	
15 他職種の役割と協働 排泄介助の実際 方法・手順	30 まとめ 定期試験	
[使用テキスト・参考文献] 最新・介護福祉士養成講座 6・7・8 生活支援技術 I・II・III 中央法規	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術 出席・授業態度等	

2025年度
授 業 計 画

科目名 生活支援技術 B	授業の種類 講義・演習	授業担当者 前田もえみ
授業回数 90時間 30回	配当学年・時期 1年 前期	実務経験：特別養護老人ホーム・ グループホームにおいて介護福祉士として勤務
[きょういくもくひょう] [教 育 目 標] 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることを含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。		
授 業 内 容		
1 自立に向けた居住環境の整備 ①	16 睡眠障害とその支援 多職種との連携	
2 生活空間 ①	17 自立に向けた入浴・清潔保持の介護	
3 居住環境のアセスメント ①	18 安全・安楽な入浴とは 多職種との連携	
4 安全で住み心地よい生活の場づくり ①	19 様々な障害に応じた入浴介護	
5 住宅改修、バリアフリー化	20 個浴での介助方法	
6 施設等での集住の場合の工夫、留意点	21 演習 個浴・リフト浴での入浴介助	
7 休息・睡眠の介護 休息・睡眠とは	22 演習 個浴・リフト浴での入浴介助	
8 休息・睡眠環境を整えるアセスメント	23 演習 個浴・リフト浴での入浴介助	
9 演習 ベッドメイキング	24 演習 個浴・リフト浴での入浴介助	
10 演習 ベッドメイキング	25 清潔保持の介助方法 全身清拭	
11 演習 シーツ交換	26 演習 全身清拭 陰部洗浄	
12 演習 シーツ交換	27 演習 全身清拭	
13 演習 シーツ交換	28 演習 全身清拭	
14 演習 シーツ交換	29 演習 全身清拭	
15 演習 シーツ交換	30 定期試験	
[しやうてきすと・さんこうぶんけん] 最新・介護福祉士養成講座 中央法規 第6・7・8巻 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	[なんいにんてい ほうほうおよびきじゆん] 筆記・レポート・実技 出席・授業態度等	

2025年度
授 業 計 画

科目名 生活支援技術 B	授業の種類 講義・演習	授業担当者 前田もえみ
授業回数 90時間 30回	配当学年・時期 1年 後期	実務経験：特別養護老人ホーム・グループホームにおいて介護福祉士として勤務
[きょういくもくひょう] [教 育 目 標] 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることを含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。		
授 業 内 容		
1 清潔保持の介助方法 足浴・手浴	16 福祉用具の意義と活用	
2 清潔保持の介助方法 洗髪	17 福祉用具の代用	
3 演習 洗髪	18 自立に向けた家事の介護	
4 演習 洗髪	19 家事の意義と目的	
5 演習 洗髪	20 家事の利用者アセスメント	
6 演習 洗髪	21 家事の介助の技法 ①	
7 演習 足浴・手浴	22 家事の介助の技法 ②	
8 演習 足浴・手浴	23 家事の介助の技法 ③	
9 自立に向けた食事の介護	24 家事の介助の技法 ④	
10 食事の意義と目的 道具・用具の種類	25 被災地で活動する際の心構え	
11 事故の予防 異常時の対応	26 災害時における生活支援 ①	
12 演習 普通食（椅座位・ベッド上）	27 被災地で活動する際の心構え	
13 演習 普通食（椅座位・ベッド上）	28 状況に応じた支援の工夫 ①	
14 演習 普通食（視覚障害） 介護食	29 状況に応じた支援の工夫 ②	
15 食事の介護における多職種との連携	30 定期試験	
[しやうてきすと・さんこうぶんけん] 最新・介護福祉士養成講座 中央法規 第6・7・8巻 生活支援技術 I・II・III	[なんいにんてい ほうほうおよびきじゅん] 筆記・レポート・実技 出席・授業態度等	

令和 7 年度

授 業 計 画

科目名 介護過程 A	授業の種類 講義・演習・実習	授業担当者 河邊 隆二
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 1 年（前期・後期）	実務経験：介護老人保健施設、 グループホームで介護福祉士として勤務
[教育目標] 他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。		
授業内容		
1 介護過程を学ぶために「生活」①		
2 介護過程を学ぶために「生活」②		
3 介護過程を学ぶために「かかわり」①		
4 介護過程を学ぶために「かかわり」②		
5 利用者の願いや思いに気づく①		
6 利用者の願いや思いに気づく②		
7 現場演習 ①		
8 現場演習 ②		
9 現場演習 ③		
10 現場演習 ④		
11 「課題解決志向」について理解する ①		
12 「課題解決志向」について理解する ②		
13 現場演習 ⑤		
14 現場演習 ⑥		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 改訂第 3 版 楽しく学ぶ介護過程 介護福祉教育研究会	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・出席状況	

令和 7 年度

授 業 計 画

科目名 介護過程 A	授業の種類 講義・演習・実習	授業担当者 河邊 隆二
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 1 年（前期・後期）	実務経験：介護老人保健施設、 グループホームで介護福祉士として勤務
[教育目標] 他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。		
授業内容		
1 介護過程とは何か ①		
2 介護過程とは何か ②		
3 介護過程の構造と構成要素 ①		
4 介護過程の構造と構成要素 ②		
5 「介護過程展開シート」の書き方 ①		
6 「介護過程展開シート」の書き方 ②		
7 「介護過程展開シート」の書き方 ③		
8 現場演習 ①		
9 現場演習 ②		
10 現場演習 ③		
11 現場演習 ④		
12 現場演習 ⑤		
13 現場演習 ⑥		
14 現場実習のまとめ		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 改訂第 3 版 楽しく学ぶ介護過程 介護福祉教育研究会	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・出席状況	

2025年度
授業計画

科目名 介護総合演習 A	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 古賀 由利子
授業の回数 72 時間 36 回	配当学年・時期 1年 (前期・後期)	実務経験：介護老人保健施設において介護福祉士として勤務
[教育目標] 介護実習の意義・目的を学び、学校で学んだ知識・技術の統合を行い、実践的に対応できるよう指導する。介護実践の科学的探究ができるよう指導する。		
授業内容		
1 介護過程実習のオリエンテーション		
2 介護過程実習 事前準備 ①		
3 介護過程実習 事前準備 ②		
4 実習記録用紙の説明		
5 介護実践の科学的探究		
6 まとめ 定期試験		
[使用テキスト・参考文献] 介護実習要項	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート 技術 発表会・出席・授業態度等	

2025年度
授業計画

科目名 介護総合演習 A	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 古賀 由利子
授業の回数 72 時間 36 回	配当学年・時期 1年 (前期・後期)	実務経験：介護老人保健施設において介護福祉士として勤務
[教育目標] 介護実習の意義・目的を学び、学校で学んだ知識・技術の統合を行い、実践的に対応できるよう指導する。介護実践の科学的探究ができるよう指導する。		
授業内容		
1 介護実習について	16 基礎 1 実習の注意事項 直前確認	
2 介護実習について意義・目的	17 基礎 1 実習 まとめ	
3 各施設について事前学習 ①	18 基礎 1 実習 まとめ	
4 施設について 発表会	19 基礎 1 実習 発表会	
5 施設見学のオリエンテーション	20 基礎 1 実習 発表会	
6 施設見学	21 基礎 2 実習のオリエンテーション	
7 施設見学	22 基礎 2 実習のオリエンテーション	
8 施設見学のまとめ	23 知識と技術の融合	
9 施設見学の発表会	24 実習記録用紙の説明 ①	
10 基礎 1 実習のオリエンテーション	25 実習記録用紙の説明 ②	
11 基礎 1 実習のオリエンテーション	26 基礎 2 実習の注意事項 直前確認	
12 実習記録用紙の説明 ①	27 基礎 2 実習の注意事項 直前確認	
13 実習記録用紙の説明 ②	28 基礎 2 実習 まとめ	
14 実習記録用紙の説明 ③	29 基礎 2 実習 発表会	
15 基礎 1 実習の注意事項 直前確認	30 基礎 2 実習 発表会	
[使用テキスト・参考文献] 介護実習要項	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート 技術 発表会・出席・授業態度等	

2025年度
授業計画

科目名 介護実習	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 古賀 由利子
授業の回数 456 時間	配当学年・時期 1年(後期)・2年(前期・後期)	実務経験:介護老人保健施設に おいて介護福祉士として勤務
[教育目標] 1 講義で学んだ知識に基づいて介護福祉利用者との関わりを深め、介護福祉利用者が求めている生活のニーズに関する理解力、判断力を養う。 2 日常生活援助に関する介護技術能力を深めると同時に各種の介護を助ける住生活設備や介護機器の知識と活用能力を養う。 3 実習指導者のスーパービジョンを受けながら介護計画の立て方や記録の方法について学び、チームの一員として介護過程の実践的展開を遂行する能力を養う。 4 施設の運営や訪問介護との連携ならびに通所ケアプログラムにも参加し、利用者の生活全般に対する介護の役割や多職種協働の実践について理解を深める。 5 訪問介護実習では家庭を訪問して行う訪問介護、その他の居宅サービスや地域における生活支援の実践について理解を深める。		
授業内容 1 実習先の役割と特徴を理解する。 2 利用者の生活を理解する。 3 利用者の理解ができる。 4 利用者の立場に立ったコミュニケーションができる。		
1 実習先の役割と特徴を理解する。 2 利用者の生活を理解する。 3 利用者の理解ができる。 4 利用者の状況に応じたコミュニケーションが習得できる。		
1 実習先の生活全般の流れを理解し、それに伴い介護活動の展開ができる。 2 利用者を観察し心身の状態に応じた生活支援の展開ができる。 3 介護過程の一段階として必要な情報を収集し、利用者のニーズを把握し、介護計画を立案、実践、評価、考察ができる。介護過程の実践的展開。		
1 総合的に利用者を理解する能力を養う。 2 介護福祉士としての役割を理解できる。 3 多職種協働の実践。		
1 生活支援の幅の広さを実感し、今後の生活支援の課題やあり方を考えることができる。 2 訪問する時間帯や支援内容が、その人の一日の生活の中でどのような意味をもっているのか考えることができる。地域における生活支援の実践。		
[使用テキスト] 介護実習要項	[参考文献]	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術 実習 総合評価

2025^{ねんど}年度
授^{じゅ}業^{ぎょう}計^{けい}画^{かく}

科目名 発達と老化の理解A	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 橋本 茉旺
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 1 年 (前期・後期)	実務経験：福祉施設等で臨床心理士・公認心理師として勤務
[教育目標]		
心理的支援を行う上で必要な知識・技能を獲得する		
授業内容		
1 人間の成長と発達の基礎的知識について①		
2 //		②
3 //		③
4 //		④
5 //		⑤
6 人間の発達段階と発達課題について①		
7 //		②
8 //		③
9 //		④
10 //		⑤
11 老年期の特徴と発達課題について① ②		
12 //		③ ④
13 //		⑤
14 試験対策		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座12 発達と老化の理解	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術	

令和 7 年度
授 業 計 画

科目名 認知症の理解	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 河邊 隆二
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 1 年（前期・後期）	実務経験：介護老人保健施設、 グループホームで介護福祉士として勤務
[教育目標] 認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。		
授業内容		
1 認知症を取り巻く状況	認知症ケアの歴史 ①	
2 認知症を取り巻く状況	認知症ケアの歴史 ②	
3 認知症を取り巻く状況	認知症ケアの理念	
4 認知症を取り巻く状況	認知症高齢者の現状と今後	
5 認知症を取り巻く状況	認知症に関する行政の方針と施策	
6 医学的側面から見た認知症の基礎	認知症による障害 ①	
7 医学的側面から見た認知症の基礎	認知症による障害 ②	
8 医学的側面から見た認知症の基礎	認知症と間違えられやすい症状	
9 医学的側面から見た認知症の基礎	認知症の原因となる主な病気の症状の特徴	
10 医学的側面から見た認知症の基礎	若年性認知症 ①	
11 医学的側面から見た認知症の基礎	若年性認知症 ②	
12 医学的側面から見た認知症の基礎	病院で行われる検査、治療の実際	
13 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	認知症の人の特徴的な心理・行動 ①	
14 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	認知症の人の特徴的な心理・行動 ②	
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新・介護福祉士養成講座第12巻 「認知症の理解」中央法規出版 第2版		[単位認定の方法及び基準] 筆記試験・レポート・出席状況

2025 年度
授 業 計 画

科目名 こころとからだのしくみA	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 谷 智泉
授業の時間・回数 60時間 30回	配当学年・時期 1年通年(前期・後期)	実務経験 病院で看護師として勤務
[教育目標] からだの構造や機能及び生活に関わる身支度、移動、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠に関連したこころとからだのしくみを理解し、介護に活かすことができる。		
授業内容		
1 健康とは	16 睡眠に関連したしくみ ②	
2 「健康」づくり・健康観	17 機能低下が及ぼす影響	
3 からだのしくみの理解 ①	18 変化の気づきと対応	
4 " ②	19 移動に関する基礎知識	
5 " ③	20 移動に関連したしくみ	
6 " ④	21 機能低下が及ぼす影響	
7 " ⑤	22 変化の気づきと対応	
8 " ⑥	23 入浴に関する基礎知識	
9 " ⑦	24 入浴に関連したしくみ ①	
10 こころのしくみの理解 ①	25 " ②	
11 " ②	26 機能低下が及ぼす影響 ①	
12 " ③	27 " ②	
13 " ④	28 変化の気づきと対応 ①	
14 睡眠に関する基礎知識	29 " ②	
15 睡眠に関連したしくみ ①	30 まとめと試験	
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 第11巻 「こころとからだのしくみ」 「全部わかる人体解剖図」 成美堂出版	[単位認定の方法及び基準] 筆記試験・小テスト・出席状況等	

2025 年度
授 業 計 画

科目名 こころとからだのしくみA	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 谷 智泉
授業の時間・回数 30時間 15回	配当学年・時期 1年通年（前期・後期）	実務経験 病院で看護師として勤務
[教育目標]		
からだの構造や機能及び生活に関わる身支度、移動、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠に関連したこころとからだのしくみを理解し、介護に活かすことができる。		
授業内容		
1 身支度に関連したしくみ	16	
2 機能低下が及ぼす影響	17	
3 変化の気づきと対応	18	
4 食事に関する基礎知識	19	
5 食事に関連したしくみ ①	20	
6 " ②	21	
7 機能低下が及ぼす影響 ①	22	
8 変化の気づきと対応	23	
9 排泄に関する基礎知識	24	
10 排泄に関連したしくみ ①	25	
11 " ②	26	
12 代償的な栄養摂取法・食事の種類	27	
13 機能低下が及ぼす影響	28	
14 変化の気づきと対応	29	
15 まとめと試験	30	
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 第11巻 「こころとからだのしくみ」 「全部わかる人体解剖図」 成美堂出版		[単位認定の方法及び基準] 筆記試験・小テスト・出席状況等

2025 年度
授 業 計 画

科目名 医療的ケア A	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 谷 智泉
授業の時間・回数 3 2時間 1 6回	配当学年・時期 1 年（前期 後期）	実務経験 病院で看護師として勤務
[教育目標] 医療的ケアに関する行為の社会的位置づけ、介護福祉士の役割を理解する。 医療的ケアに必要な医学的知識・技術を身につける。		
授業内容		
1 第1章 人間と社会	16	まとめと試験
2 第2章 保健社会制度とチーム医療 ほけんしゃかいせいど いりょう	17	
3 第2章 保健社会制度とチーム医療 第4章 清潔保持と感染予防 せいけつ ほ じ かんせんよぼう	18	
4 第4章 清潔保持と感染予防	19	
5 第8章 高齢者及び障害児・者の 「経管栄養」概論 ① けいかんえいよう がいろん	20	
6 " ②	21	
7 " ③	22	
8 " ④	23	
9 " ⑤	24	
10 " ⑥	25	
11 " ⑦ 第9章 高齢者及び障害児・者の 「経管栄養」実施手順解説 ① じっしてじゅんかいせつ	26	
12 " ②	27	
13 " ③	28	
14 " ④	29	
15 " ⑤	30	
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 第15巻 「医療的ケア」 「全部わかる人体解剖図」 成美堂出版		[単位認定の方法及び基準] 小テスト・出席態度等・筆記試験

2025 年度
授 業 計 画

科目名 医療的ケア演習	履修方法 講義・ <u>演習</u> ・実習	授業担当者 谷 智泉
授業の時間・回数 8 時間 4 回	配当学年・時期 1 年（前期 <u>後期</u> ）	実務経験 病院で看護師として勤務
[教育目標] 医学的知識を理解し、安全に利用者に実施することができる技術を身につけることができる。		
授業内容		
1	けいかんえいよう 経管栄養のオリエンテーション、物品の確認・手順説明	
2	経管栄養の実際	演習①
3	〃	演習②
4	〃	演習③ ※規定回数終了するまで実施
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 第15巻 「医療的ケア」 「全部わかる人体解剖図」 成美堂出版		[単位認定の方法及び基準] 規定回数及び評価表による評価により、 合格基準に達するまで行う

ねんど れいわ ねんど
2025年度（令和7年度）

じゅぎょうけいかく
授業計画（シラバス）

ねんせい
2年生

2025年度
授業計画

科目名 せいかつふくし しゃかいほしょうせいど 生活福祉と社会保障制度	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 小笠原 靖治
授業の時間・回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 2年（前期・後期）	実務経験 かいごろうじんほけんしせつ かいご 介護老人保健施設で介護 ふくしし きんむ 福祉士として勤務
[教育目標] しゃかいふくし りねん 社会福祉の理念について理解できる。 かくしゃかいふくしせいど 各社会福祉制度について理解できる。		
授業内容		
1	せいかつふくし しゃかいほしょう どうにゆう 生活福祉と社会保障 導入	
2	しゃかいほしょう きほんてきしてん 社会保障の基本的視点 セーフティネット	
3	にほん ふくし げんじょう しょうしこうれいしゃかい 日本の福祉の現状（少子高齢社会）	
4	しゃかいふくし れきし 社会福祉の歴史（日本・世界）	
5	しゃかいふくし き そこうぞうかいかく 社会福祉基礎構造改革	
6	しゃかいほけん しゃかいてあて 社会保険と社会手当	
7	せいかつこんきゅうしゃじりつしえんほう 生活困窮者自立支援法	
8	ねんきん 年金	
9	かいご いくじきゆうぎょうほう 介護・育児休業法	
10	しょうしこうれいかたいさく 少子高齢化対策	
11	共生社会について	
12	ちいきほうかつ ちいききょうせいしゃかい 地域包括ケアと地域共生社会	
13	しゃかいふくし せんもんしよく 社会福祉の専門職	
14	しゃかいほしょう ざいげん 社会保障の財源	
15	まとめ 試験	
[使用テキスト・参考文献] 介護福祉士養成講座 社会の理解 中央法規出版		[単位認定の方法及び基準] ひっき 筆記・レポート

2025年度
授業計画

科目名 障害者福祉論	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 栗山 信介
授業の回数 30時間 15回	配当学年・時期 2年 (前期 後期)	実務経験： ・基幹相談支援センター ・相談支援専門員
[教育目標] 障害者保健福祉制度の基本的な考え方としくみ、障害者総合支援制度の内容を理解する。 また、障害者福祉の現状と課題をとらえることができる。		
授業内容		
1 授業の概要		
2 障害者支援の実際について		
3 障害者保健福祉の動向①		
4 障害者保健福祉の動向②		
5 障害者の定義①		
6 障害者の定義②		
7 障害者施設見学①		
8 障害者施設見学②		
9 障害者保健福祉に関する制度①		
10 障害者保健福祉に関する制度②		
11 障害者総合支援制度①		
12 障害者総合支援制度②		
13 障害者総合支援制度③		
14 全体のまとめ		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 2 社会の理解(中央法規出版)	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術	

2025年度
授業計画

科目名 介護の基本 A	履修方法 講義 演習・実習	授業担当者 古賀 由利子
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 2年 (前期・後期)	実務経験：介護老人保健施設に おいて介護福祉士として勤務
[教育目標] 介護福祉士としての理念・倫理観を身につけ、施設・事業所など各種介護場面についての理解ができるよう指導する。		
授業内容		
1	社会福祉士及び介護福祉士法①	
2	社会福祉士及び介護福祉士法②	
3	介護福祉士の活動の場と役割	
4	介護問題の背景と介護福祉士制度	
5	介護福祉士の役割と機能	
6	求められる介護福祉士像	
7	介護における専門職能団体の活動①	
8	介護における専門職能団体の活動②	
9	介護福祉士の倫理	
10	介護福祉の基本となる理念	
11	多職種連携・役割	
12	他職種と介護福祉士との連携	
13	介護福祉士のやりがいとは何か①	
14	介護福祉士のやりがいとは何か②	
15	まとめ 定期試験	
[使用テキスト・参考文献] 最新・介護福祉士養成施設講座 3 介護の基本 I 中央法規	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート 技術、出席・授業態度等	

2025 年度
授 業 計 画

科目名 介護の基本C	授業の種類 講義・演習・実習	授業担当者 谷 智泉
授業の回数 30時間 15回	配当学年・時期 2年 (前期) 後期)	実務経験 病院で看護師として勤務
[教育目標]		
・介護福祉士として必要な^{りんり}倫理について学習する。 ・利用者及び介護^{かいごじゅうじしゃ}従事者に対するリスクマネジメントについて学習する。		
授業内容		
1	多 ^た 職 ^{しよく} 種 ^{しゆれんけい} 連 ^{じっさい} 携 ^{さい} の理解と実際	
2	地 ^ち 域 ^{いきれんけい} 連 ^い 携 ^ぎ の意 ^{もくてき} 義と目的	
3	介 ^{かい} 護 ^ご 実 ^{じっせん} 践における連携	
4	利 ^り 用 ^{よう} 者を取り巻 ^と く地 ^ち 域 ^{いきれんけい} 連 ^{じっさい} 携 ^{さい} の実際	
5	介 ^{じゅうじしゃ} 護 ^{りんり} 従事者の倫理	
6	介 ^{かい} 護における安 ^{あんぜん} 全 ^{かくほ} の確保	
7	リ ^{ひつようせい} スクマネジメントの必要性	
8	事 ^じ 故 ^こ 防 ^{ぼう} 止・安 ^{あんぜんたいさく} 全 ^{さく} 対 ^{さく} 策 ①	
9	” ②	
10	感 ^{かん} 染 ^{せん} 予 ^よ 防 ^{ぼう} について ①	
11	” ②	
12	介 ^{けんこうかんり} 護 ^{かんり} 従事者の健康管理	
13	こころとからだの健康管理	
14	介 ^{あんぜんかんり} 護 ^{かんり} 従事者の安全管理	
15	まとめと試験	
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 第4巻 「介護の基本Ⅱ」		[単位認定の方法及び基準] 授業態度・出席状況・筆記試験

令和 7 年度
授業計画

科目名 介護の基本D	授業の種類 講義・演習・実習	授業担当者 河邊 隆二
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 2 年（前期・後期）	実務経験：介護老人保健施設、 グループホームで介護福祉士として勤務
[教育目標] 「尊厳の保持」「自立支援」という介護の考え方を理解するとともに、「介護を必要とする人」を、生活の観点から捉えることができる。		
授業内容		
1 利用者の生活を支えるしくみ 地域共生社会 ①		
2 利用者の生活を支えるしくみ 地域包括ケアシステム ②		
3 高齢者のための生活を支えるフォーマルサービス（社会的サービス）①		
4 高齢者のための生活を支えるフォーマルサービス（社会的サービス）②		
5 高齢者のための生活を支えるフォーマルサービス（社会的サービス）③		
6 障害者のための生活を支えるフォーマルサービス（社会的サービス）①		
7 障害者のための生活を支えるフォーマルサービス（社会的サービス）②		
8 障害者のための生活を支えるフォーマルサービス（社会的サービス）③		
9 生活を支えるインフォーマルサービス（私的サービス）①		
10 生活を支えるインフォーマルサービス（私的サービス）②		
11 生活を支えるインフォーマルサービス（私的サービス）③		
12 地域連携 ①		
13 地域連携 ②		
14 地域連携 ③		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新・介護福祉士養成講座 第4巻「介護の基本Ⅱ」中央法規 第2版	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・出席状況	

2025年度
授業計画

科目名 介護に活かすリハビリテーション	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 北田 祥二郎
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 2 年 (前期 ・ 後期)	実務経験： 理学療法士15年（機能訓練8年）
[教育目標]		
1. 介護を必要とする対象者に基本的なアセスメントが出来る。		
2. 介護が必要となる原因の理解と自立支援に向けた介護動作の習得ができる。		
授業内容		
1 自立に向けた移動の介護「ボディメカニクス、筋と関節」		
2 「安楽肢位、スライディングシート」		
3 「寝返り、起き上がり」		
4 「寝返り、起き上がり」		
5 「立ち上がり」		
6 「車椅子の構造」		
7 「移乗介助」		
8 「ノーリフティングポリシー」		
9 「ノーリフティングポリシー、スライディングボード」		
10 「ノーリフティングポリシー、床走行式リフト」		
11 「ノーリフティングポリシー、床走行式リフト」		
12 「ノーリフティングポリシー、横スライド移乗」		
13 「ノーリフティングポリシー、移乗介助実技」		
14 「ノーリフティングポリシー、移乗介助実技」		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献]	[単位認定の方法及び基準]	
3 介護の基本Ⅰ 6 生活支援技術Ⅰ	筆記・レポート・技術 ・ 小テスト ・ 実技試験	

2025年度
授業計画

科目名 コミュニケーション技術A	履修方法 講義・ <u>演習</u> 実習	授業担当者 小笠原 靖治
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 2 年 (<u>前期</u>) ・ 後期)	実務経験 かいごろうじんほけんしせつ かいご 介護老人保健施設で介護 ふくしし きんむ 福祉士として勤務
[教育目標] りようしや 利用者とのコミュニケーションの基本がわかる。 コミュニケーションをしょうさつ ぎほう まな 省察する技法を学ぶ。(再構成)		
授業内容		
1 介護におけるコミュニケーションの基礎 (講義)		
2 バイステックの原則		
3 双方向コミュニケーション		
4 再構成事例		
5 再構成の記載方法		
6 再構成の評価考察		
7 実習場面の再構成		
8 事例による再構成作成		
9 事例による再構成発表①		
10 事例による再構成発表②		
11 実習事例による再構成		
12 実習事例再構成指導		
13 実習事例再構成発表①		
14 実習事例再構成発表②		
15 まとめ 試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 5 コミュニケーション技術 中央法規出版		[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術

2025年度

授業計画

科目名 せいかつしえんぎじゅつ 生活支援技術 C 家庭経営	履修方法 こうぎ せんしゅう じっしゅう 講義・演習・実習	授業担当者 ごとう なおこ 後藤 直子
授業の回数 じゅぎょう かいすう 16 時間 8 回	配当学年・時期 はいとうがくねん じ き 2 年 (前期 (後期))	実務経験：介護の専門学校、4年生大学 じつむけいけん かいご せんもんがっこう 4ねんせいだいがく 、短期大学等で教授として家庭経営学 たんだいがくとう きょうじゅ かいごいけいぎがく 、家庭管理学、家族関係学、消費科学、 かていかんりがく かぞくかんけいがく しょうひかがく 家政学原論、生活経営学、生活設計演 かせいがくげんろん せいかつけいぎがく せいかつせつけいせん しゅう かもく たんとく 習などの科目を担当してきた。
【教育目標】 きょういくもくひょう ・家庭や家族についての言葉の意味を理解し、基本的な知識を身につける。 かてい かぞく ことば いみ りかい きほんてき ちしき み ・生活に関わる問題意識を身につける。 せいかつ かか もんだい いしき み ・それらの知識等をもとに自分の考えをまとめ、意見を述べる力を養う。 ちしきなど じぶん かんが いけん の ちから やしな		
授業内容		
1 家庭生活と消費者保護 1 かていせいかつ しょうひしゃ ほ ご	消費書問題（消費書問題の歴史・様々な消費者問題（悪質 しょうほう ふ こ さぎ きゅうさい そ ち ほか 商法、振り込め詐欺など）、救済措置他	
2 家庭生活と消費者保護 2 かていせいかつ しょうひしゃ ほ ご	多重債務問題（その変遷）、その予防と解決方法（任意整理 たじゅうさいむもんだい へんせん よぼう かいけつほうほう にんいせいり とくていちようてい こじんさいせい じ こ はさんとう ・特定調停・個人再生・自己破産等）	
3 家庭生活と消費者保護 3 かていせいかつ しょうひしゃ ほ ご	利息の計算、利息制限法、クレジットカード、国民生活 りそく けいさん りそくせいげんほうくれっじとかーど こくみんせいかつ センター、消費生活センター せんたー しょうひせいかつせんたー	
4 家庭生活と家族 かていせいかつ かぞく	家庭生活と家族（家庭の意義、家族の重要性、核家族と かていせいかつ かぞく かてい い ぎ かぞく じゅうようせい かくかぞく かくだいかぞく せたい 2しゅるい かぞく 拡大家族・世帯、2種類の家族）	
5 家族に関する法律 1 かぞく かん ほうりつ	憲法24条とベアテシロタ、婚姻・離婚に関する法律（婚姻 けんぽう24じょう ごんいん りこん かん ほうりつ ごんいん が認められるための要件）親族の範囲など みと ようけん しんぞく はんい	
6 家族に関する法律 2 かぞく かん ほうりつ	子に関する法律、相続に関する法律（相続順位、法定相続分 こ かん ほうりつ そうぞく かん ほうりつ そうぞくじゅんい ほうていそうぞくぶん 、寄与分、遺留分、遺言など） きよぶん いりゅうぶん ゆいごん	
7 環境・災害等・家事動労 かんきょう さいがいとう か じ どうろう 環境・地震等に備え・家事労働の内容と特徴・合理化など こうれいしゃかい こんご かだい へいきんじゅみょう ろうか 高齢社会、まとめと今後に課題、平均寿命・老化とは・病気と健康、生活設計をたて てみよう。		
8 まとめと試験 しけん		
【使用テキスト・参考文献】 しんしゅうがいにしょうひしゃきょういくろん こうようしょうほう おくむらみよこ たにむらけんじへん 「新生涯消費者教育論」見洋書房 奥村美代子・谷村賢治編 「くらの豆知識」国民生活センター、また家族や消費者問題な まめちしき こくみんせいかつ かぞく しょうひしゃもんだい どに関わるDVDや映画、新聞記事などに参考にする。その他・ かわ えいが しんぶん き じ さんこう た 資料配布 しりょうはいふ		【単位認定の方法及び基準】 たんい にんてい ほうほう およ きじゅん 筆記・レポート・技術 ひっさき ぎじゅつ

2025年度
授業計画

科目名 生活支援技術D	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 恵良なを子
授業の回数 16 時間 8 回	配当学年・時期 2 年 (前期) ・ 後期)	実務経験：保健所、病院、専門学校 等において、管理栄養士として勤務
[教育目標] 高齢者の食生活支援を担う学生に対し、健全な食生活ができるように指導する。生命維持、生きる意欲につながる食事を安心して援助できる知識、技術を習得させる。		
授業内容		
1 日本の食生活の現状・食意識のアンケート		
2 栄養の基礎知識① 1日の食事記録記入		
3 栄養の基礎知識② 1日の食事記録記入		
4 何をどれだけどのように食べたらよいか（個人の栄養所要量の計算）		
5 生活習慣病と食事		
6 高齢者の食事・調理の介護		
7 食品の保存・衛生管理		
8 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新介護福祉養成講座生活支援技術1・配布 プリント	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術	

2025年度
授業計画

科目名 生活支援技術D (調理実習)	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 恵良 なを子
授業の時間・回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 2年 (前期・後期)	実務経験:保健所、病院、専門学校等 において、管理栄養士として勤務
[教育目標] 調理の基礎から介護食、おもてなしまで、旬の食材を使用し、ハラルにも対応し、 バランス良く、おいしく手早く調理できるようにする。		
授業内容		
1 調理実習①	和食の基本	
2	〃	
3 調理実習②	減塩の工夫	
4	〃	
5 調理実習③	高齢者の為の低栄養予防食	
6	〃	
7 調理実習④	糖尿病予防食	
8	〃	
9 調理実習⑤	介護食	
10	〃	
11 調理実習⑥	保存食・乾物・缶詰等を使用した非常食	
12	〃	
13 調理実習⑦	おもてなし料理	
14	〃	
15	まとめと試験	
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 生活支援技術 I 献立表	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術	

令和7年度

授業計画

科目名 介護過程B	授業の種類 講義・演習・実習	授業担当者 河邊 隆二
授業の回数 60時間 30回	配当学年・時期 2年（前期・後期）	実務経験：介護老人保健施設、 グループホームで介護福祉士として勤務
[教育目標] 他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。		
授業内容		
1 「からだシート」の書き方	16 「介護計画シート」の書き方	
2 「からだシート」の書き方	17 「介護計画シート」の書き方	
3 「からだシート」の書き方	18 「介護過程展開シート」の書き方	
4 「くらしシート」の書き方	19 「介護過程展開シート」の書き方	
5 「くらしシート」の書き方	20 「介護過程展開シート」の書き方	
6 「くらしシート」の書き方	21 「介護過程展開シート」の書き方	
7 「こころシート」の書き方	22 「介護過程展開シート」の書き方	
8 「こころシート」の書き方	23 「介護過程展開シート」の書き方	
9 「こころシート」の書き方	24 「介護過程展開シート」の書き方	
10 「アセスメントシート」の書き方	25 「介護過程展開シート」の書き方	
11 「アセスメントシート」の書き方	26 「介護過程展開シート」の書き方	
12 「アセスメントシート」の書き方	27 「介護過程展開シート」の書き方	
13 「アセスメントシート」の書き方	28 「介護過程展開シート」の書き方	
14 「介護計画シート」の書き方	29 「介護過程展開シート」の書き方	
15 「介護計画シート」の書き方	30 まとめと試験	
[使用テキスト・参考文献] 改訂第3版 楽しく学ぶ介護過程	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・出席状況	

令和 7 年度

授 業 計 画

科目名 介護過程 B	授業の種類 講義・演習・実習	授業担当者 河邊 隆二
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 2 年（前期・後期）	実務経験：介護老人保健施設、 グループホームで介護福祉士として勤務
[教育目標] 他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。		
授業内容		
1 介護過程実習のふりかえり ～介護過程の全体像～		
2 介護過程実習のふりかえり ～情報収集～		
3 介護過程実習のふりかえり ～計画の立案～		
4 介護過程実習のふりかえり ～実施～		
5 介護過程実習のふりかえり ～評価～		
6 介護過程実習のまとめ ①		
7 介護過程実習のまとめ ②		
8 介護過程実習のまとめ ③		
9 介護過程実習のまとめ ④		
10 利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開の理解 ①		
11 利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開の理解 ②		
12 利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開の理解 ③		
13 利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開の理解 ④		
14 利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開の理解 ⑤		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 改訂第 3 版 楽しく学ぶ介護過程	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・出席状況	

2025年度

授業計画

科目名 介護総合演習 B	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 古賀 由利子
授業の回数 48 時間 24 回	配当学年・時期 2年 (前期・後期)	実務経験：介護老人保健施設に おいて介護福祉士として勤務
[教育目標] 利用者のニーズを理解し、個別の介護計画の立案・実践ができるよう指導する。		
授業内容		
1 実習記録用紙の説明 ①	16 総合実習 事前準備 ①	
2 実習記録用紙の説明 ②	17 総合実習 事前準備 ②	
3 介護過程実習の注意事項 直前確認①	18 多職種協働の実践	
4 介護過程実習の注意事項 直前確認②	19 実習記録用紙の説明	
5 介護過程実習の注意事項 直前確認③	20 記録用紙提出・お礼状作成	
6 介護過程の実践展開 ①	21 記録のまとめ・実習発表会準備	
7 介護過程の実践展開 ②	22 総合実習 発表会	
8 介護過程の実践展開 ③	23 総合実習 発表会	
9 演習 ①	24 まとめ 定期試験	
10 演習 ②	25	
11 記録用紙提出・お礼状作成 ①	26	
12 記録のまとめ・実習発表会準備	27	
13 介護過程実習 発表会 ①	28	
14 介護過程実習 発表会 ②	29	
15 地域における生活支援の実践	30	
[使用テキスト・参考文献] 介護実習要項	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術 発表会・出席・授業態度等	

2025 年度
授 業 計 画

科目名 発達と老化の理解B	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 谷 智泉
授業の時間・回数 30時間 15回	配当学年・時期 2年 (前期 後期)	実務経験 病院で看護師として勤務
[教育目標] 人間の成長と発達、成熟への基礎的理解をしたうえで、老化に伴う心身の変化や特徴を学び、日常生活への影響を理解する。		
授業内容		
1 加齢に伴う心身の変化		
2 老化に伴うからだの変化と日常生活 ①		
3 " ②		
4 老化に伴うこころの変化と日常生活		
5 高齢者の症状・疾患の特徴 ①		
6 " ②		
7 " ③		
8 高齢者に多い症状・訴えと留意点 ①		
9 " ②		
10 " ③		
11 高齢者に多い病気とその留意点 ①		
12 " ②		
13 " ③		
14 保健医療職との連携		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 第12巻 「発達と老化の理解」		[単位認定の方法及び基準] 筆記試験・小テスト・出席状況等

令和 7 年度
授 業 計 画

科目名 認知症の理解	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 河邊 隆二
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 2 年（前期・後期）	実務経験：介護老人保健施設、 グループホームで介護福祉士として勤務
[教育目標] 認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた 周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。		
授業内容		
1 認知症を取り巻く状況	認知症ケアの歴史 ①	
2 認知症を取り巻く状況	認知症ケアの歴史 ②	
3 認知症を取り巻く状況	認知症ケアの理念	
4 認知症を取り巻く状況	認知症高齢者の現状と今後	
5 認知症を取り巻く状況	認知症に関する行政の方針と施策	
6 医学的側面から見た認知症の基礎	認知症による障害 ①	
7 医学的側面から見た認知症の基礎	認知症による障害 ②	
8 医学的側面から見た認知症の基礎	認知症と間違えられやすい症状	
9 医学的側面から見た認知症の基礎	認知症の原因となる主な病気の症状の特徴	
10 医学的側面から見た認知症の基礎	若年性認知症 ①	
11 医学的側面から見た認知症の基礎	若年性認知症 ②	
12 医学的側面から見た認知症の基礎	病院で行われる検査、治療の実際	
13 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	認知症の人の特徴的な心理・行動 ①	
14 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	認知症の人の特徴的な心理・行動 ②	
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新・介護福祉士養成講座第 12 巻 「認知症の理解」中央法規出版 第 2 版		[単位認定の方法及び基準] 筆記試験・レポート・出席状況

令和 7 年度

授 業 計 画

科目名 認知症の人への介護	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 河邊 隆二
授業の回数 30 時間 15 回	配当学年・時期 2 年 (前期 ・ 後期)	実務経験：介護老人保健施設、 グループホームで介護福祉士として勤務
[教育目標] 認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた 周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。		
授業内容		
1 認知症の人へのかかわりの基本		
2 認知症の人へのかかわりの基本 (現場演習)		
3 認知症への気づき		
4 認知症の人への介護過程		
5 認知症の人への介護過程 (現場演習)		
6 認知症の進行に応じた介護		
7 認知症の進行に応じた介護 (現場演習)		
8 人が生きるということを支えるということ		
9 地域におけるサポート体制		
10 チームアプローチ		
11 チームアプローチ (現場演習)		
12 介護者自身の体験		
13 家族へのレスパイトケア・家族へのエンパワメント・家族会と介護教室		
14 認知症対策と介護保険制度・その他の施策		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新・介護福祉士養成講座 第12巻 「認知症の理解」中央法規出版 第2版	[単位認定の方法及び基準] 筆記試験・レポート・出席状況	

2025年度
授業計画

科目名 障害の理解A	履修方法 講義 演習・実習	授業担当者 田中 実緒
授業の回数 44 時間 22 回	配当学年・時期 2 年 (前期) ・ 後期)	実務経験： 助産師として病院勤務を経験、 現在は保健師として産業保健を行っている
[教育目標]		
① 障害の概念や基本理念、福祉制度について理解し、個々の特性に応じた生活支援（家族も含めた）を考えることができる。また、障害の基礎的知識を学び、身体的・心理的側面を踏まえた自立に向けた支援の基礎知識を習得する。 ② 利用者や本人取り巻く、家族の地域生活を支える為、多職種との連携やチームアプローチ、社会資源について理解し、考察することができる。		
授業内容		
1 第1章 第1節：障害の概念	12 ③腎機能障害 ④膀胱・直腸機能障害	
2 第2節：障害者福祉の基本理念	13 ⑤小腸機能障害 ⑥ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	
3 第3節：障害者福祉に関する制度	14 ⑦肝臓機能障害	
4 第4節：障害者福祉制度と介護保険制度	15 第7節：重症心身障害	
5 第2章 第1節：障害のある人の心理	16 第3章 第1節：知的障害	
6 第2節：肢体不自由（運動機能障害） ①確認テスト	17 第2節：精神障害 ②確認テスト	
7 第3節：視覚障害 DVD視聴	18 第3節：高次機能障害	
8 第4節：聴覚・言語障害	19 第4節：発達障害	
9 第5節：重複障害	20 第5節：難病 DVD視聴	
10 第6節：内部障害 ①心機能障害	21 第4.5章：連携と協働、家族への支援	
11 ②呼吸器機能障害	22 まとめと試験	
[使用テキスト・参考文献] ・介護福祉士養成講座14 障害の理解 ・人体解剖図 ・図解でわかる 障害福祉サービス ・介護福祉士国家試験問題	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術	

2025年度
授業計画

科目名 障害者の理解B	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 橋本 茉旺
授業の回数 16 時間 8 回	配当学年・時期 2 年 (前期) ・ 後期)	実務経験：福祉施設等で臨床 心理士・公認心理師として勤務
[教育目標] 障害を持つ方々への心理的支援を行う上で必要な知識・技能を獲得する		
授業内容		
1 障害の概念		
2 障害者福祉の基本理念		
3 心理学（心理療法・心理検査）の基礎知識		
4 精神障害について①		
5 " ②		
6 " ③		
7 試験対策		
8 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座14 障害の理解		[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術

2025 年度
授 業 計 画

科目名 こころとからだのしくみB	授業の種類 講義・演習・実習	授業担当者 谷 智泉
授業の回数 30時間 15回	配当学年・時期 2年（前期 後期）	実務経験 病院で看護師として勤務
[教育目標]		
死にゆく人の心と身体のしくみを理解し、求められる介護を提供できる知識を習得し医療職と連携をとりながら、死を迎える本人・家族を支援する。		
授業内容		
1 死を理解する		
2 DVD視聴「最後の笑顔 ～納棺師が描いた東日本大震災～」		
3 終末期から「死」までの変化と特徴		
4 死に対するこころの理解 DVD視聴「家で親を看取る」		
5 終末期のケア ①		
6 “ ② DVD視聴「彼女は、安楽死を選んだ」		
7 死後の処置		
8 演習「死後の処置①」		
9 演習「死後の処置②」		
10 資料「死の自由」について グループワーク		
11 発表、意見交換		
12 DVD視聴「亡き人を悼み、魂を送る」		
13 緊急時の対応		
14 医療職との連携		
15 まとめと試験		
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 第11巻 「こころとからだのしくみ」		[単位認定の方法及び基準] 授業態度・出席状況・小テスト・レポート

2025 年度
授 業 計 画

科目名 医療的ケアB	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 谷 智泉
授業の時間・回数 36時間 18回	配当学年・時期 2年(前期)後期)	実務経験 病院で看護師として勤務
[教育目標]		
医療的ケアに関する行為の社会的 ^{こうい} 位置づけ、介護福祉士 ^{しゃかいできい} の役割 ^{やくわり} を理解する。 医療的ケアに必要な医学的 ^{いがくてき} 知識・技術 ^{ちしき} を身につける。		
授業内容		
1 第3章 安全な療養生活 ^{あんぜん りょうようせいかつ}	16 第7章 高齢者及び障害児・者の 「たんの吸引」実施手順解説 ④	
2 第3章 安全な療養生活	17 " ⑤	
3 第3章 安全な療養生活 第5章 健康状態 ^{はあく} の把握	18 まとめと試験	
4 第5章 健康状態の把握	19	
5 第5章 健康状態の把握	20	
6 第6章 高齢者及び障害児・者の 「たんの吸引」概論 ^{がいろん} ①	21	
7 " ②	22	
8 " ③	23	
9 " ④	24	
10 " ⑤	25	
11 " ⑥	26	
12 " ⑦	27	
13 " ⑧ 第7章 高齢者及び障害児・者の 「たんの吸引」実施手順解説 ^{じっしてじゅんかいせつ} ①	28	
14 " ②	29	
15 " ③	30	
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 第15巻 「医療的ケア」 「全部わかる人体解剖図」 成美堂出版		[単位認定の方法及び基準] 小テスト・出席態度等・筆記試験

2023 年度
授 業 計 画

科目名 医療的ケア演習	履修方法 講義・ <u>演習</u> ・実習	授業担当者 谷 智泉
授業の時間・回数 8時間 4回	配当学年・時期 2年（前期 <u>後期</u> ）	実務経験 病院で看護師として勤務
[教育目標] 医学的知識を理解し、安全に利用者に実施することができる技術を身につけることができる。		
授業内容		
1	たんの吸引 ^{きゅういん} のオリエンテーション、物品 ^{ぶつびん} の確認 ^{かくにん} ・手順説明 ^{てじゅんせつめい}	
2	たんの吸引の実際 演習①	
3	” 演習②	
4	” 演習③ ※規定回数が終了するまで実施	
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
[使用テキスト・参考文献] 最新 介護福祉士養成講座 第15巻 「医療的ケア」 「全部わかる人体解剖図」 成美堂出版		[単位認定の方法及び基準] 規定回数及び評価表による評価により、 合格基準に達するまで行う

ねんど れいわ ねんど
2025年度（令和7年度）

じゅぎょうけいかく
授業計画（シラバス）
スキルカスタマイズ講座

2025年度
授業計画

科目名 セラピューティック・ケア	履修方法 講義・演習・実習	授業担当者 池上照子
授業の回数 1.5 時間 8 回	配当学年・時期 1 年 (前期・後期)	実務経験:
[教育目標] セラヒ。ユーティック・ケアの基本理念に基づき心のケアとして理論と実技習得 セラピューティック・ケア介護セラヒストとして施術を行い他者とのコミュニケーションを図る。		
授業内容		
1 オリエンテーション		
セラピューティック・ケア概論 学校教育用DVDネック&ショルダーケア (B) の実技演習		
2 首・肩の解剖生理について、ネック&ショルダーケア (B) ハンド&アームケア 実技演習		
3 手と腕の解剖生理学 ハンド&アームケア、感染予防		
4 足の筋肉と骨格、レッグケア・ネック&ショルダーケア (B) ハンド&アームケア		
5 呼吸法・相乗効果、ネック&ショルダーケア (B) ハンド&アームケア、レッグケア		
6 傾聴 ネック&ショルダーケア (B)、レッグケア、ハンド&アームケア事例ごとの対応		
7 筆記テスト ※全てのスキル確認		
8 スキル試験 ネック&ショルダーケア・ハンド&アームケア・レッグケア 実習について・まとめ		
[使用テキスト・参考文献] セラピューティック・ケア (改訂版) 施術用乳液		[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術

2025年度
授業計画

科目名 スキルカスタマイズ講座 ソシオエステ	履修方法 講義 演習 実習	授業担当者 岩 ともみ
授業の回数 20 時間 10 回	配当学年・時期 2年 (前期 ・ 後期)	実務経験：
[教育目標] 「ソシオエステ」とは、フランスの医療現場で活躍する国家資格です。メイク・アロマ・ネイル・ヘアーの基礎知識を学び、高齢者に合わせた 施術について実践を通し学びます。		
授業内容		
1 オリエンテーション・自己紹介・高齢者の美容について。 メイクの手順と方法を知る(スキンケア～ベースメイク)		
2 基本的な皮膚理論と高齢者の肌について、 メイクの手順と方法を知る(スキンケア～ポイントメイク)		
3 メイクの実習(フルメイク)相モデルにて実践。		
4 ネイルケアの基礎知識と施術の流れを知る。相モデルにて実践。		
5 アロマの基礎知識を学ぶ、アロマの特徴と働きを知る。 ヘアーについての基礎知識、ブローしてみる。		
6 メイクとネイル実習、相モデルにて復習しながら実践		
7 施設にて実習		
8 施設にて実習		
9 施設にて実習		
10 施設にて実習		
[使用テキスト・参考文献] なし	[単位認定の方法及び基準] 筆記・レポート・技術	

別表 授業科目及び時間数（2025年度/令和7年度）

		教育内容	科目名	履修法	時間	受講学年	
						1年次	2年次
人間と社会	人間の理解	人間の尊厳と自立		講義	30	○	
		人間関係とコミュニケーション		講義	60	○	
	社会の理解	生活福祉と社会保障制度		講義	30		○
		高齢者福祉論		講義	30	○	
		障害者福祉論		講義	30		○
	選択必修	音楽療法		演習	60	○	
介護	介護の基本	介護の基本A		講義	30		○
		介護の基本B		講義	60	○	
		介護の基本C		講義	30		○
		介護の基本D		講義	30		○
		介護に活かすリハビリテーション		演習	30		○
	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術A		演習	30		○
		コミュニケーション技術B		演習	30	○	
	生活支援技術	生活支援技術A		演習	120	○	
		生活支援技術B		演習	120	○	
		生活支援技術C		演習	16		○
		生活支援技術D		演習	46		○
	介護過程A		講義	60	○		
	介護過程B		講義	90		○	
	介護総合演習A		演習	72	○		
	介護総合演習B		演習	48		○	
	介護実習		実習	456	168	288	
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	発達と老化の理解A		講義	30	○	
		発達と老化の理解B		講義	30		○
	認知症の理解	認知症の理解		講義	30	○	○
		認知症の人への介護		講義	30		○
	障害者の理解	障害者の理解A		講義	44		○
		障害者の理解B		講義	16		○
	こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみA		講義	90	○	
		こころとからだのしくみB		講義	30		○
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケアA		講義	24	○	
		医療的ケアB		講義	27		○
		医療的ケア演習		演習	16	○	○
卒業試験							
合計					1875	992	913